令和6年度昭和村教育委員会の点検及び評価報告書

(点検・評価の対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和6年9月

昭和村教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、令和5年度の昭和村教育委員会の活動状況及び重点施策について、このほど点検及び評価を行いましたのでその結果を報告いたします。

1 実施の方法

(1) 評価シートの作成

ア 評価の対象事業

評価の対象とする事業は、昭和村教育振興基本計画の重点施策とします。

イ 事業の(自己)評価

教育委員会事務局で次の4段階に評価します。

- A 十分成果が上がっている
- B 成果が上がっている
- C 改善の余地が多い
- D 抜本的な見直しが必要

上記の結果を踏まえ、今後どのように事業を進めるかを決めます。

- さらに重点化する
- 継続実施する
- 改善見直しを検討する
- 休止、廃止を検討する

(2) 教育行政評価委員の意見、助言

「教育行政評価委員会議」を開催し、教育委員会事務局が評価した事務事業について意見や助言を受けることで、評価の客観性や精度を高めます。

◎ 教育行政評価委員（任期：令和6年7月1日～令和7年3月31日）

高橋 侑也（昭和村保育所保護者会長）

菅家 実（昭和小学校PTA会長）

酒井 聡志（昭和中学校PTA会長）

羽染 としの（昭和村主任児童委員・元教育委員・元社教指導員）

舟木 秋広（下中津川区長・元教育委員）

◎ 会議の開催日 令和6年7月24日（出席：4人、欠席：1人）

第1 教育委員会の活動状況

1 会議の開催状況 教育委員会定例会12回 臨時会0回

(1) 議案の審議

提出月日	番号	議案名
令和5年 4月13日	5	昭和村学校教育指導委員の委嘱について
	6	奨学生選考委員会委員の委嘱について
	7	昭和村心身障害児就学指導委員の委嘱について
	8	昭和村社会教育委員の委嘱について
	9	昭和村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	10	令和5年度一般会計補正予算(第2号)について
5月11日	11	昭和村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
6月 1日	12	就学援助費支給認定について
	13	就学援助費支給認定について
	14	就学援助費支給認定について
	15	令和5年度一般会計補正予算(第3号)について
7月 6日	16	昭和村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	17	昭和村教育行政外部評価委員の委嘱について
7月19日	18	令和6年度使用小学校教科用図書の採択について
	19	令和6年度使用中学校教科用図書の採択について
	20	令和6年度使用学校教育法附則第9条の規程による絵本等の一般図書の採択について
9月 7日	21	令和5年度一般会計補正予算(第6号)について
10月 5日	22	昭和村いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
11月 9日	23	昭和村子どもの教育検討委員会委員の委嘱について
	24	昭和村教育委員会傍聴人規則の一部改正について
12月 7日	25	令和5年度一般会計補正予算(第8号)について
令和6年 1月11日	1	昭和村学校給食センター運営規則の一部改正について
	2	昭和村教育委員の辞職について
2月 1日	3	令和6年度一般会計(教育委員会関係)予算について
	4	昭和村教育委員の任命について
3月 7日	5	令和5年度一般会計(教育委員会関係)補正予算について
	6	野尻体育館の指定管理者の指定について
	7	教職員異動についての内申について
	7	教職員異動についての内申について

(2) 協議事項

提出月日	件名
令和5年 4月13日	1 昭和村教育振興基本計画について 2 福島県市町村教育委員会連絡協議会定期総会について
7月 6日	1 令和5年度教育委員・教育長研修会について 2 小中一貫校の先進事例研修について
7月19日	1 令和5年度昭和村成人式について
9月 7日	1 小学校学校訪問について
10月 5日	1 福島県市町村教育委員会連絡協議会両沼支会秋季総会の件 2 令和5年度昭和村総合教育会議の開催について 3 中学校学校訪問について
12月 7日	1 学校給食費の無償化について

(3) 報告事項

報告月日	件名
令和5年 4月13日	1 令和4年度一般会計補正予算(第11号)について 2 令和5年度一般会計補正予算(第1号)について 3 令和5年度教育課程編成届について 4 教育委員会事務局事務分掌について 5 教職員の異動について
6月 1日	1 令和5年度昭和村会計年度任用職員の採用について
9月 7日	1 令和4年度決算(教育費等)について 2 令和4年度昭和村教育委員会点検評価結果について 3 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
11月 9日	1 令和6年度昭和小学校・昭和中学校入学予定者について 2 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会について
12月 7日	1 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会結果について
令和6年 1月11日	1 令和5年度昭和村会計年度任用職員の採用について 追加1 令和6年度昭和小学校、中学校入学予定者名簿

2 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況

施設名	実施日	訪問内容
昭和村立昭和小学校	10月 5日	授業参観、学校運営説明、学校長と懇談
昭和村立昭和中学校	11月 9日	授業参観、学校運営説明、学校長と懇談

昭和村公民館	毎月1回	事務事業の運営状況
昭和村学校給食センター	未実施	

3 教育委員の研修会参加状況（単位：人）

	全国	東北	県	会津	両沼	村
教育委員	0	0	1	3	4	4
教育長	1	1	1	1	1	1

4 教育委員会の体制

教育長	栗村良輔	就任 R04.05.21
教育委員	五十嵐麻裕子（教育長職務代理者）	// H29.10.01
	本名敬	// H23.07.04
	栗城照美	// H25.04.24
	五十嵐吉弘	// R04.10.01

事務局（（兼）昭和村公民館）

教育次長(兼)公民館長(兼)学校給食センター所長	栗城 進也
教育係長(兼)学校給食センター給食係長	鶉川 洸一
主査	五十嵐 正富
主事	菅家 良太
社会教育指導員(会計年度任用職員)	鈴木 千江美

教育行政 評価委員 の意見、 助言	<p>◇ 学校給食費の無償化は、保育所保護者の立場からも良いことだと評価する。</p> <p>◇ 教育委員の東北地区研修会は勉強になる良い機会であるため、なるべく参加してほしい。</p>
--------------------------------------	---

第2 昭和村教育委員会の重点施策【昭和村教育振興基本計画(令和5年度～令和7年度)】

- 次頁からの「令和5年度重点施策の事業評価シート」のとおり。

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	② 小中連携教育・小中一貫教育の推進		
事業の目的	<p>○ 中学校の専門教員による小学校への乗り入れ授業をはじめ、小中合同の文化祭を開催。</p> <p>○ 小中一貫教育として実績のある学校への視察研修を行い、村ならではの教育を議題とした話し合いを行い、教職員及び保護者を含めた村民の意識の向上を図り、小中一貫教育への相互理解を深め、より一層の推進を図る。</p>		
事業の計画、内容	<p>○ 中学校の理科と社会科の専門教員による小学校への乗り入れ授業を実施する。</p> <p>○ 小中連携教育の推進のため、11月に小中合同の文化祭を開催する。</p> <p>○ 小中一貫教育の先進事例視察を行うとともに、教職員及び保護者を含めた村民による本村独自の教育の在り方を検討する。</p>		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒と教職員		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	10 千円	0 千円	先進事例視察出張旅費（教育委員）
実績・成果 （数値等）	<p>◎ 乗り入れ授業は、中学校の専門教員が小学5・6年の社会と6年の理科を実施した。児童とその保護者からは授業が分かりやすいなどの高評価を得ているほか、中一ギャップ解消にもつながっている。令和6年度は6年生の英語と理科の授業を実施する計画。</p> <p>◎ 視察研修は、教育委員と学校長及び保育所長で義務教育学校を目指している鮫川村を研修した。</p> <p>◎ 保育所から中学校までの教職員と保護者、区長代表、議会代表等で構成する昭和村子ども教育検討委員会を設置し、今後の保育所から中学校まで一貫した本村独自の教育システムの在り方について、施設整備を含めて村当局（村長）に対し方向性を示すことができた。</p>		
事業の （自己） 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	■ 十分必要である(10) おおむね必要である(6) あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	■ 十分寄与している(10) おおむね寄与している(6) あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	■ 十分できている(10) おおむねできている(6) できていない(1)		
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
■ 達成できている(10) おおむね達成できている(6) 達成できていない(1)			
40			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	■ さらに重点化する	継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	<p>◇ 小中乗り入れ授業は大変良い取り組みなので、充実と継続を望む。</p> <p>◇ 昭和中太鼓で、以前活動していた「昭和村悠久太鼓」時代の曲を再現して、小中合同文化祭で披露してはどうか。</p>
----------------	--

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	③ 豊かな人間性を育む教育		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学び自ら考える力を獲得させることにより、「確かな学力を身に付け、自己実現を図ることができる児童生徒」を育成する。 ○ 少人数教育の利点を生かし、一人一人の個性や適性に応じた指導を工夫することにより、より良い社会生活を営むことができるよう人間性の向上に努める。 ○ オンライン等を活用しながら、合同郷土学習や、他校との交流学習を積極的に推進する。 		
事業の計画、内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器（児童生徒1人1台タブレット、電子黒板など）を効果的に活用し、個別最適化された教育の充実を図る。 ○ ICT教育を効率的かつ効果的に活用できるよう、小、中学校に定期的に支援員を派遣して学校教育現場の支援を行う。 		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒と教職員		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	6,904 千円	5,054 千円	デジタル機器の維持管理費 ICT支援員の業務委託料
実績・成果 (数値等)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 各教科毎にタブレット端末と電子黒板、デジタル教科書を組み合わせた授業や、学習支援ソフト（タブレットドリル、すらら、学びポケット）を活用して家庭学習などを行っている。また、病気などで出席停止になった生徒や長期休業期間中には、遠隔授業や課題の配信、さらに生徒自らも学級活動や児童会、生徒会活動などに積極的に活用している。 ◎ ICT支援員は小学校、中学校合わせて年間約90回、学校へ出向きシステムや端末機器の使用方法及び活用のサポートを行った。 		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	■ 十分必要である(10) おおむね必要である(6) あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	■ 十分寄与している(10) おおむね寄与している(6) あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	■ 十分できている(10) おおむねできている(6) できていない(1)		
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
■ 達成できている(10) おおむね達成できている(6) 達成できていない(1)			
40			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	■ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	④ 特色ある教育活動の推進		
事業の目的	<p>○ 昭和村の豊かな自然に親しみ、体験を通して学習意欲の元となる好奇心を伸ばし、郷土の自然を守る心を養う。</p> <p>○ 昭和村の特色ある産業（米や野菜、カスミソウ栽培等の農業、からむし織等の伝統産業）とその流通等について学び、郷土愛と誇りを持ち、村の将来の在り方についても考えることのできる人財を育てる。</p>		
事業の計画、内容	<p>○ 小学校と中学校ではそれぞれ自然教室と森林学習を行う。</p> <p>○ 小学校では稲作体験とカスミソウ栽培を学ぶ。中学校では村のカスミソウ栽培について、3年間で定植から流通、小売りの現場までを学ぶ。</p> <p>○ 中学校の郷土学習では、郷土食の「凍み餅」作りを行う。</p>		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	382 千円	408 千円	花育事業、森林環境学習の経費
実績・成果 (数値等)	<p>◎ 森林学習は駒止湿原や矢ノ原湿原の動植物に関する学習を行い、自然保護などの環境問題に対して関心を深めることができた。</p> <p>◎ 昭和村の農業の主要作物である宿根カスミソウの栽培に関しては、令和5年度も行政の農業担当部門の「花育事業」と連携し行われた。なお、この活動は全国過疎地域持続的発展優良事例の一部として、令和5年に表彰された。</p> <p>◎ 郷土学習ではこれまでソバの栽培から調理までの学習を行ってきたが、令和5年度は伝統食である「凍み餅」作りをおこない、新たな郷土食文化の理解を深めることができた。</p>		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	■ 十分必要である(10) おおむね必要である(6) あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	■ 十分寄与している(10) おおむね寄与している(6) あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
■ 十分できている(10) おおむねできている(6) できていない(1)			
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
■ 達成できている(10) おおむね達成できている(6) 達成できていない(1)			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	■ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	⑤ 教育環境の整備充実		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校事故の未然防止に努め、万が一事故が起こった場合に迅速かつ適切に対応できる体制を整える。 ○ 通学時の安全対策、自然災害時の危機管理教育を充実させる。 ○ いじめについては「昭和村いじめ問題対策連絡協議会」を活用し、未然防止に努める。また、不登校児に対しては、家庭訪問やオンライン学習等を通して、生活・学習面の支援をしながら、復帰に向けての望ましい環境づくりに努める。 ○ 感染症に対する正しい理解を基に、保健衛生環境の整備に努める。 ○ 村外から赴任する教職員が安心して村内に居住できる教員宿舎の確保と維持管理に努めると共に、宿舎の建設にも着手する。 ○ 学校施設の老朽化に伴う修繕、改修を計画的に行うとともに、小中一貫校開設に伴う学校新築の検討を進めていく。 		
事業の計画、内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの防止等に関する機関及び団体相互の連絡調整を図るため、昭和村いじめ問題対策連絡協議会を開催する。 ○ 令和5年度は昭和村教員宿舎の新築と解体の設計を行い、令和6年度に解体工事と新築工事を着工する。 ○ 小中一貫校開設に関する検討を行う。 		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒と教職員		
事業費	令和5年度決算	前年度決算額	事業費の主な内容
	19,985 千円	33 千円	いじめ問題対策連絡協議会委員報酬、教員宿舎解体・新築事業費
実績・成果(数値等)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 本村ではいじめは確認されていないが、昭和村いじめ問題対策連絡協議会を12月に開催し、関係機関相互の連絡調整を図った。 ◎ 教員宿舎解体新築事業は、令和5年度は設計のみの計画だったが、解体工事を前倒しで実施した。これにより、新築工事の着工を少しでも早めることが可能となった。 ◎ 小中一貫校開設に関しては、(1)-②に記載したとおり、検討委員会で方向性をまとめたところ。小学校、中学校のみならず、学校給食センターと保育所の建物も老朽化が著しいため、それらを含んだハード面に関しての検討を令和6年度から始めたい。 		
事業の(自己)評価	必要性(住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	■ 十分必要である(10) おおむね必要である(6) あまり必要でない(1)		
	有効性(施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	■ 十分寄与している(10) おおむね寄与している(6) あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性(最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
	■ 十分できている(10) おおむねできている(6) できていない(1)		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
■ 達成できている(10) おおむね達成できている(6) 達成できていない(1)			
40			
A (十分成果が上がっている)			
事業の方向性	■ さらに重点化する	継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 10数年前からの悲願である教員宿舎新築が実現することは喜ばしいこと。今後も教職員の住環境整備に努めてほしい。
----------------	--

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	⑦ 安全・安心な学校給食の充実		
事業の目的	☐ 地場産の食材を活用し安全安心な学校給食を提供する。 ☐ 栄養技師等を活用した食育指導の充実を図る。 ☐ 農業体験を通し、食への関心を促す。		
事業の計画、内容	☐ 一週間の食形態は米飯給食5回とし麦ごはんを実施する。なお、月1回程度は麺やパンの給食も実施する。 ☐ 旬の食材を中心とした献立、行事食、お楽しみ献立を実施する。（入学進級、七夕、十五夜、クリスマス、節分、ひな祭り、卒業、センター設立記念献立等） ☐ 県産品等の地場産物の活用や郷土料理を取り入れる。 ☐ 衛生面も考慮しなるべく既製品は使わず、手作りの給食を提供する。 ☐ 小学校では総合学習の時間に代掻きから稲刈り、脱穀までの稲作体験を実施する。		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	15,653 千円	17,900 千円	学校給食センター運営費
実績・成果 (数値等)	☒ 令和5年度の地元産品の使用割合は次のとおり。可能な限り村内産品の活用に努めた。 福島県内産品使用割合 47.6% (前年度比+8.8%) うち、村内産品 15.7% (" +2.1%) ・村内産食材の主なもの：穀類、いも類、豆類、緑黄色野菜以外の野菜類、きのこ類 ・村内で活用不可のもの：魚介類、獣鳥肉類、卵 ※福島県学校給食における地場産物の活用状況調査より ☒ 栄養技師が給食センター食育年間計画を作成し、目標を定めて食育指導を行った。 ☒ 小学校の稲作体験は、農家の指導の下、予定どおり実施して最後は保護者を交えた収穫祭を行った。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(10) ☐ おおむね必要である(6) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(10) ☐ おおむね寄与している(6) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(10) ☐ おおむねできている(6) ☐ できていない(1)		
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
☒ 達成できている(10) ☐ おおむね達成できている(6) ☐ 達成できていない(1)			
40			
A (十分成果が上がっている)			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	① 少年教室の企画運営		
事業の目的	小学校や保健福祉課、老人クラブ等と連携し、好奇心と実体験を大切に楽しく学べる機会を創出し、子どもの育成を図る。		
事業の計画、内容	☐ 社会教育指導員が主体となって年間13のプログラムを企画、実行する。 ☐ 活動計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域文化や行事体験（陶芸教室、防災教室、冬の行事体験） ・ 親子での活動（料理教室、自然体験） ・ 近隣町村との交流（山っ子スクール） ・ 世代間の交流（eスポーツ/ニュースポーツ交流会） ・ 村外での体験活動（会津自然の家、県文化財センター、菓子工場、昆虫館など） 		
事業の対象者	小学校児童及びその保護者		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	3,258 千円	3,185 千円	社会教育指導員の人件費
実績・成果 (数値等)	☒ 教室は計画どおり開催することができた。令和4年度まではコロナ禍のため村内での活動を中心にしてきたが、令和5年度は新型コロナも5類へ移行したことから、村外での体験学習を多数実施した。 ☒ 社会福祉協議会や老人クラブ、放課後児童クラブ、子ども会などの関係機関と連携してプログラムを企画し、各回7～14人の児童が参加して実施できた。今後は、少年教育にとどまらず家庭教育、親子教育に加えて、多世代が交流する事業の企画に努める。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(10) ☐ おおむね必要である(6) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(10) ☐ おおむね寄与している(6) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
☒ 十分できている(10) ☐ おおむねできている(6) ☐ できていない(1)			
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
☒ 達成できている(10) ☐ おおむね達成できている(6) ☐ 達成できていない(1)			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	② 生涯学習講座と千歳学級の開催		
事業の目的	村民の学習ニーズに沿った講座等を開催することにより村民の積極的な学習を促すとともに、様々な方面にわたる知識を深め、多様な趣味や生きがいづくりを推進する。		
事業の計画、内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英会話教室（全7回） ・ シニアビューティー講座（全2回） ・ 矢ノ原勉強会（全4回） ・ 昭和学講座（全5回） ・ 豆盆栽教室、大人の木工教室、蕎麦打ち教室、しめ飾り作り教室 ○ 千歳学級 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・芸術・美術等鑑賞会（全5回） ・ 社会科見学会 ・ 終活講座 ・ 健康講座（全2回） ・ 美術教室 ・ eスポーツ/ニュースポーツ大会 		
事業の対象者	全村民及び高齢者		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	124 千円	379 千円	講師謝礼及び材料費など
実績・成果 (数値等)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生涯学習講座 各回とも10名以上の参加者があり、新しい知識や趣味開拓だけでなく、参加した受講生同士の交流の場にもなった。 ◎ 千歳学級 参加者のニーズが高いテーマの講座を開催するとともに、県内で開催される様々な企画展やイベントの鑑賞会を中心に企画し、受講生同士、楽しみながら趣味や生きがいづくりに寄与できた。 <p>それぞれ、今後も村民のニーズを取り入れ、楽しみながら活動できる魅力あるプログラムを計画する。</p>		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	■ 十分必要である(10) おおむね必要である(6) あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	■ 十分寄与している(10) おおむね寄与している(6) あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	■ 十分できている(10) おおむねできている(6) できていない(1)		
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
■ 達成できている(10) おおむね達成できている(6) 達成できていない(1)			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	■ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	③ 昭和村民文化祭と芸術鑑賞会の開催		
事業の目的	作品展や芸能発表など練習してきた成果を発表する場を設けるとともに、演劇と音楽の公演を開催し芸術文化に触れる機会を設け、村民の芸術文化振興を図る。		
事業の計画、内容	☐ 第61回昭和村民文化祭を11月3日の文化の日を中心に開催する。 ☐ 昭和村映画上映会は、児童生徒向けと一般村民向けを数本上映する。 ☐ 児童生徒向けの芸術鑑賞会は、児童劇の公演を行う。 ☐ 第19回会津西部総合演芸大会を両沼西部4町村を会場に秋頃実施する。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	687 千円	560 千円	芸術文化鑑賞事業の謝礼など
実績・成果 (数値等)	☒ 第61回昭和村民文化祭は、10月28日の小中学校文化祭を皮切りに11月4日まで公民館で開催。コロナ禍が明けたため多くの来場者で賑わったが、村民の作品展示数が年々減少してきている。 ☒ 昭和村映画上映会は、3月10日と13日に公民館を会場に開催。観客数は延べ150人。 ☒ 児童生徒を対象にした芸術鑑賞会は、演劇公演「ファミリーシアター」を9月27日に開催。なお、児童生徒が少数であるため、単独町村で開催するのは費用対効果の面から非効率なので、同様の事業を実施する近隣町村と共同開催も検討する必要がある。 ☒ 第19回会津西部総合演芸大会は、12月3日と17日に金山町と柳津町でそれぞれ開催され、本村からは大芦ダイモチ引き木遣り保存会とわらべの会が出演した。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(10)	☐ おおむね必要である(6)	☐ あまり必要でない(1)
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(10)	☐ おおむね寄与している(6)	☐ あまり寄与していない(1)
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(10)	☐ おおむねできている(6)	☐ できていない(1)
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
☒ 達成できている(10)	☐ おおむね達成できている(6)	☐ 達成できていない(1)	
40			
A (十分成果が上がっている)			
事業の方向性	さらに重点化する	継続実施する	☒ 改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	④ 昭和村文化協会加盟団体の支援		
事業の目的	広域的な「会津西部総合演芸大会」や「会津西部巡回美術展」等への参加も促しながら、団体が積極的に活動できるよう支援する。		
事業の計画、内容	☐ 加盟団体への補助金を交付して活動の支援を行う。 ☐ 会津西部総合演芸大会への参加（会津西部巡回美術展は令和6年度開催）		
事業の対象者	昭和村文化協会加盟団体		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	360 千円	330 千円	昭和村文化協会への村補助金 会津西部総合演芸大会参加費
実績・成果 (数値等)	☒ 昭和村文化協会への支援 活動の支援として村から補助金を協会へ交付し加盟する11団体へ配分され、それぞれの活動が行われた。しかし、加盟団体は高齢化にともない会員の減少で休会や解散になる団体が出るなど、財政面の支援以外も検討しなければならない。 ☒ 第19回会津西部総合演芸大会 12月3日、17日に会津西部4町村の文化団体による発表会が金山町と柳津町で開催され、本村からは大芦ダイモチ引き木遣り保存会とわらべの会が出演した。次回令和7年の開催には他の団体も参加できるようなことも検討すべきと考える。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(10) ☐ おおむね必要である(6) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(10) ☐ おおむね寄与している(6) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
☒ 十分できている(10) ☐ おおむねできている(6) ☐ できていない(1)			
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
☒ 達成できている(10) ☐ おおむね達成できている(6) ☐ 達成できていない(1)			
40			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	⑤ 村民の読書の機会の普及推進		
事業の目的	村民が読書に親しみ、書物を通して多様な学びができるよう、図書室の蔵書の充実を図り、併せて電子図書館サービスの導入を図り、読書の普及と推進に努める。		
事業の計画、内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規に公民館図書を購入したり、県立図書館移動図書館あづま号からの貸し出しを活用して図書室の蔵書の充実を図る。 ○ 村振興計画の基本目標の一つである「先端的過疎への挑戦」の分野として、マイナンバーを活用した電子図書館サービスを年内には導入し、村民が読書に親しむ環境の向上を図る。 		
事業の対象者	全村民（一部村内在勤者）		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	19,579 千円	99 千円	公民館図書購入費、電子図書館導入費、図書館協会負担金
実績・成果 (数値等)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公民館図書室の図書充実と利用状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書の購入 53冊（ほかに49冊寄贈あり） ・ 図書の利用状況 貸出冊数737冊 利用者数 延べ235人 ◎ 昭和村電子図書館の開館 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月1日開館 蔵書数12,725冊 ・ 初期費用19,525千円 (内訳：システム開発費14,740千円、図書購入費3,300千円、維持管理費1,485千円) ・ デジタル田園都市国家構想交付金活用（補助率100%） ・ 電子図書館登録者数 123人 貸出冊数 847冊 ・ 蔵書計画を策定し令和10年度には2万冊に増やすとともに、他自治体との共同運用を目指す。 		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	■ 十分必要である(10) おおむね必要である(6) あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	■ 十分寄与している(10) おおむね寄与している(6) あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	■ 十分できている(10) おおむねできている(6) できていない(1)		
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
■ 達成できている(10) おおむね達成できている(6) 達成できていない(1)			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	■ さらに重点化する	継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	3 生涯スポーツ		
重点施策名	② 昭和村運動広場の管理・運営と利用促進		
事業の目的	村営の運動施設である昭和村運動広場の安全確保に努め、適切な管理運営と村民の利用促進を図る。		
事業の計画、内容	利用者が快適かつ安全に使用できるよう、トイレと体育館の清掃業務及び草刈り業務をそれぞれ委託する。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	287 千円	349 千円	施設清掃草刈り業務委託料など
実績・成果 (数値等)	<p>次のとおりそれぞれ業務を委託し、適切な施設環境の管理を行い利用者の事故等は発生しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 業務内容 体育施設（トイレ、体育館）の清掃 委託者 1名 委託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日 勤務日 毎週木曜日 ・草刈り業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 業務内容 運動広場内の草刈 委託者 3名 委託期間 令和5年6月1日～令和5年11月30日 勤務日 教育委員会の指定する日 		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(10) ☐ おおむね必要である(6) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(10) ☐ おおむね寄与している(6) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
☒ 十分できている(10) ☐ おおむねできている(6) ☐ できていない(1)			
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
☒ 達成できている(10) ☐ おおむね達成できている(6) ☐ 達成できていない(1)			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	4 歴史・文化		
重点施策名	① 昭和村文化財保護審議委員会の活動の充実		
事業の目的	村指定文化財の巡視や点検の他、新たな指定に関する検討及び村内の文化財や遺跡等の調査と保護を行う。		
事業の計画、内容	村指定文化財の指定に関する要望を受けて、その物件の調査を実施するとともに、文化財としての価値があるか否かの調査、研究を適宜実施する。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	206 千円	281 千円	委員報償費、文化財調査費、修繕費
実績・成果 (数値等)	<p>次の2つについて昭和村文化財の指定に関して調査等を行った。</p> <p>① 8月に小中津川地区の気多神社境内にある「イチイの木」を、村文化財へ指定申請があったことから、樹木の専門家に調査を委託しその結果を基に保護審議会で協議し、令和6年3月に村指定天然記念物に指定した。</p> <p>② 松山地区にある「旧名主邸」について、委員長と村博物館職員、有識者2名に委託し、建物調査とその家系の歴史的調査を行った。審議会では村指定有形文化財に指定すべきか否かの判断には至らず、継続案件となった。なお、個人の財産であり所有者や関係者の意向もはっきり定まっていないことから結論を出すまでには時間を要するものと思われる。</p>		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	■ 十分必要である(10)	○ おおむね必要である(6)	○ あまり必要でない(1)
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	■ 十分寄与している(10)	○ おおむね寄与している(6)	○ あまり寄与していない(1)
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
■ 十分できている(10)	○ おおむねできている(6)	○ できていない(1)	
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
■ 達成できている(10)	○ おおむね達成できている(6)	○ 達成できていない(1)	
A （十分成果が上がっている）			
事業の方向性	さらに重点化する	■ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		
教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。		

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	4 歴史・文化		
重点施策名	② 駒止湿原の保護と活用		
事業の目的	国指定天然記念物「駒止湿原」は、南会津町及び駒止湿原保護協議会並びに駒止湿原案内の会と連携し、管理と整備を行いながら保護と活用を図る。		
事業の計画、内容	☐ 盗掘や踏み荒らし防止、散策マナー啓発、獣害被害対策のためシーズン中の監視活動。 ☐ 湿原保護と入山者の自然環境保護の意識向上を図るため、保護協力金箱を設置する。 ☐ 湿原内に侵入した外来植物の防除。 ☐ ニホンジカとイノシシの侵入及び湿原植物への被害を抑えるため、ワイヤーメッシュ柵と防鹿柵を設置するとともに、湿原内に赤外線センサーカメラを設置し、生息密度及び進入路などのモニタリング調査を行う。 ☐ 木道の修繕や補修と案内看板を設置し入山者の安全と湿原の保護を図る。		
事業の対象者	全村民及び隣接する地域の住民など		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	1,600 千円	1,700 千円	駒止湿原保護協議会負担金
実績・成果 (数値等)	☒ 5月21日の開山から10月31日の閉山の間、駒止湿原案内の会に委託し毎日、監視業務を実施した。監視員は衛星電話を携帯し緊急時などの連絡体制を構築した。 ☒ 外来植物の防除、除去を南会津町の湿原を守る会の協力で、6月23日に実施した。 ☒ 湿原保護のための募金箱を設置し406千円の協力金があった。 ☒ 木道の修理を計画どおり行ったほか、木道調査を行い今後の修繕箇所把握を行った。 ☒ 昭和村側駐車場の案内看板更新と入山ルールやクマ注意看板を設置した。 ☒ ニホンジカ用の防鹿柵を南会津町の湿原を守る会に委託し、5月30日から10月25日まで設置し、見回りや点検を定期的実施した。 ☒ 赤外線センサーカメラを設置し、ニホンジカ、イノシシの生息数推定調査を行った。 ☒ イノシシの食害と掘り起こし対策として、5月17日から11月2日まで4箇所にワイヤーメッシュ柵を設置し被害軽減を図った。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(10)	☐ おおむね必要である(6)	☐ あまり必要でない(1)
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(10)	☐ おおむね寄与している(6)	☐ あまり寄与していない(1)
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
☒ 十分できている(10)	☐ おおむねできている(6)	☐ できていない(1)	
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
☒ 達成できている(10)	☐ おおむね達成できている(6)	☐ 達成できていない(1)	
A （十分成果が上がっている）			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		
教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。		

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	4 歴史・文化		
重点施策名	③ 矢ノ原湿原の調査や保護		
事業の目的	福島大学等の動植物及び生態系を研究している専門家と連携し、村天然記念物で県自然環境保全地域「矢ノ原湿原」の調査や保護を行う。		
事業の計画、内容	☐ 湿原内の外来植物の駆除を実施する。 ☐ 湿原内の木道に滑り止め防止の補修を実施する。 ☐ 月に2回、湿原内の保護と監視のため監視を行う。 ☐ 生涯学習講座の一環として、矢ノ原湿原勉強会を開催する。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	272 千円	86 千円	保護監視業務委託料、修繕費
実績・成果 (数値等)	☒ 福島大学黒沢教授や福島県植物研究会の二瓶氏の協力で6月から11月までの間、外来植物の観賞用スイレン駆除を実施した。 ☒ 湿原内の木道滑り止め対策補修は計画どおり施工し、散策者の安全確保を図った。 ☒ 保護監視業務を1名に委託し4月から11月まで月2回、湿原の保護と監視を実施した。 ☒ 専門家を講師に迎え、矢ノ原湿原勉強会を6月、8月、9月、11月の計4回、延べ30人の参加で開催し、参加者は湿原内の植物とその保護について理解を深めることができた。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(10)	☐ おおむね必要である(6)	☐ あまり必要でない(1)
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(10)	☐ おおむね寄与している(6)	☐ あまり寄与していない(1)
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
☒ 十分できている(10)	☐ おおむねできている(6)	☐ できていない(1)	
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
☒ 達成できている(10)	☐ おおむね達成できている(6)	☐ 達成できていない(1)	
A （十分成果が上がっている）			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 遊歩道の脇にゴミがすてられていることがあるので、対策を検討してほしい。
----------------	---------------------------------------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	5 国際理解		
重点施策名	① ALT(外国語指導助手)の配置		
事業の目的	ALTを配置し、子どもたちが確かな英語力を習得し、国際社会で活躍できる人材の育成を目指す。		
事業の計画、内容	☐ 児童生徒の英語科の授業にける指導の助手を務める。 ☐ 7月末で現在のALTが任期満了となるため継続して配置されるよう、県や関係機関と連絡調整を進める。		
事業の対象者	昭和小学校と昭和中学校の児童生徒		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	5,076 千円	4,518 千円	ALT人件費、旅費、消耗品費、自動車共済、JET負担金など
実績・成果 (数値等)	☐ 後任のALTは配置が決まり、8月29日から勤務を開始した。 ☐ 昭和中学校生徒の実用英語技能検定では全校生徒10人のうち3級2人、4級3人、5級3人が合格するなど、事業の成果が現れている。		
事業の (自己) 評価	必要性(住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	☒ 十分必要である(10) ☐ おおむね必要である(6) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性(施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与している(10) ☐ おおむね寄与している(6) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性(最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
☒ 十分できている(10) ☐ おおむねできている(6) ☐ できていない(1)			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
☒ 達成できている(10) ☐ おおむね達成できている(6) ☐ 達成できていない(1)			
A (十分成果が上がっている)			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。
----------------	---------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	5 国際理解		
重点施策名	② ブリティッシュヒルズ英語研修の実施		
事業の目的	外国語によるコミュニケーション能力を育成するため、児童生徒を語学研修施設へ派遣する。		
事業の計画、内容	○ 天栄村にある語学研修施設のブリティッシュ・ヒルズに昭和小学校の5、6年生を派遣し、生きた英語を学ぶ機会を設ける。		
事業の対象者	昭和小学校の児童		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	109 千円	171 千円	研修負担金
実績・成果 (数値等)	計画どおり11月13日に昭和小学校5年生と6年生の計8人を日帰りで施設に派遣し、英語や英国文化に触れることができた。 しかし、学校では教育課程編成上、日程の確保が年々困難になっており、また、日帰り程度の語学研修では児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成には効果が現れないものと考える。		
事業の (自己) 評価	必要性 (住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	十分必要である(10)	おおむね必要である(6)	■ あまり必要でない(1)
	有効性 (施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	十分寄与している(10)	おおむね寄与している(6)	■ あまり寄与していない(1)
	経済・効率性 (最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
	十分できている(10)	■ おおむねできている(6)	できていない(1)
目標達成度 (計画通りに目標を達成できたか。)			
■ 達成できている(10)	おおむね達成できている(6)	達成できていない(1)	
	10	6	2
	C (改善の余地が多い)		
事業の方向性	さらに重点化する	継続実施する	改善見直しを検討する
	■ 休止、廃止を検討する	(令和5年度で事業を廃止する)	

教育行政評価委員の意見、助言	◇ 事業の廃止は妥当である。
----------------	----------------

令和5年度重点施策の事業評価シート

基本計画名	5 国際理解		
重点施策名	③ 生涯学習「英会話教室」の開催		
事業の目的	ALTを講師として大人の英会話教室を開催し、英会話の学習を通じて多様性と互いを尊重する機会を創出する。		
事業の計画、内容	英語の指導と国際理解を深める教室を年3回開催する。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和5年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	5,076 千円	4,518 千円	(5)-①の再掲
実績・成果 (数値等)	当初はALTの任期が7月で切れることから、後任の確保も未定だったため3回の教室開催を計画したが、8月以降も後任の配置が決まったことから教室開催回数を年7回に増やし、延べ47名が受講した。 新しいALTも受講生からは指導面などで高い評価を得ており、次年度はさらに回数を多く開催し事業の更なる充実を目指したい。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	■ 十分必要である(10) おおむね必要である(6) あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	■ 十分寄与している(10) おおむね寄与している(6) あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
■ 十分できている(10) おおむねできている(6) できていない(1)			
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
■ 達成できている(10) おおむね達成できている(6) 達成できていない(1)			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	■ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		
教育行政評価委員の意見、助言	◇ 特になし。		